



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ソディック 上場取引所 東
 コード番号 6143 URL https://www.sodick.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 前島 裕史 TEL 045-942-3111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	40,744	△18.0	827	△69.9	893	△65.3	619	△47.4
2019年12月期第3四半期	49,707	△20.6	2,746	△66.7	2,577	△68.1	1,177	△79.1

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △809百万円 (ー%) 2019年12月期第3四半期 △340百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	13.16	11.30
2019年12月期第3四半期	25.05	21.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	116,978	56,768	48.5	1,204.96
2019年12月期	114,647	58,745	51.2	1,247.06

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 56,696百万円 2019年12月期 58,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	12.00	—	13.00	25.00
2020年12月期	—	12.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,400	△18.0	1,300	△62.0	1,300	△63.5	750	△62.5	15.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	47,052,517株	2019年12月期	53,450,916株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	6,310,499株	2019年12月期	6,407,799株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	47,035,303株	2019年12月期3Q	47,010,525株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済状況は、全世界的に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済活動が抑制される等厳しい状況にあり、日本においても緊急事態宣言解除後も依然として先行きの見通せない状況が続いているほか、欧米でもロックダウンや外出制限等もあり厳しい状況が続いています。当社の最大市場である中国の経済状況においては、感染が収束に向かった4月以降移動制限解除の動きが広がり、中国国内消費は回復傾向ではあるものの、欧米への輸出が回復していないこともあり、依然として不透明な状況は継続しています。

このような事業環境の中、当社グループは、長期経営計画「Next Stage 2026 ~Toward Further Growth~」を掲げ、「創造」「実行」「苦勞・克服」という創業精神を基盤に豊かな未来につながる技術を磨き、ものづくりを通して持続可能な社会の実現にチャレンジしています。

当社では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、安全衛生面の徹底は元より、在宅勤務・時差出勤等を実施し、感染リスクを低減しつつ、業務を継続できる体制を維持してまいりました。営業活動におきましては、展示会が相次いで中止となっている中、WEB展示会を実施するなど、ITを活用した活動を展開しています。生産活動におきましても、需要減少に合わせた生産調整のため、タイ工場の稼働日の調整によりコスト低減を図っています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止への社会貢献のため、フェイスシールド用フレーム「Face Tech」を開発し、医療関係・学校法人・スポーツ団体等へ供給しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高407億44百万円（前年同四半期比18.0%減）、営業利益8億27百万円（前年同四半期比69.9%減）、経常利益8億93百万円（前年同四半期比65.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億19百万円（前年同四半期比47.4%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

工作機械事業	売上高	26,317百万円	(前年同期比 23.7%減)
	営業利益	1,675百万円	(前年同期比 1,889百万円減)
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、世界的に景気が大幅に減速し、自動車や電子部品、航空宇宙など幅広い産業での事業活動停止等による製品出荷の後ろ倒しや設備投資を先送りする傾向が強くなりました。一方で、3月以降中国における5G関連、半導体関連分野の需要回復は継続しましたが、世界的な需要の落ち込みを補うことはできず、売上高は前年同期比で大幅に減少しました。</p> <p>セグメント利益においても販売台数の減少に伴う工場稼働率の低下等により前年同期比で大幅に減少しました。</p>			
産業機械事業	売上高	8,045百万円	(前年同期比 11.1%増)
	営業利益	370百万円	(前年同期比 152百万円増)
<p>世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の抑制状況は継続しています。5Gスマートフォンのアンテナ部品向けやレンズ向け案件があった他、CASEなど次世代自動車関連向けなどの需要もあり、売上高は前年同期比で増加したものの、足元の需要状況については一服感が見られ、先行きが見通せない状況となっています。</p>			
食品機械事業	売上高	2,223百万円	(前年同期比 35.9%減)
	営業利益	27百万円	(前年同期比 342百万円減)
<p>各種製麺機、麺製造プラント、無菌包装米飯製造装置などの開発・製造・販売、その保守サービスを行っています。衛生面や省人化対応設備の他、外出自粛に伴う巣ごもり需要に関連した需要増が見られたものの、主要な案件の売上見込み時期が第4四半期に集中していることに加え、新型コロナウイルス感染拡大による営業活動の遅れや設備投資の先送りの動きもありました。また、前年同期には、製麺関連の大口径案件があったことから、売上高は前年同期比で大幅に減少しました。</p>			
その他	売上高	4,158百万円	(前年同期比 7.5%増)
	営業利益	312百万円	(前年同期比 75百万円増)
<p>精密コネクタなどの受託生産を行う精密金型・精密成形事業、リニアモータやセラミックス部材の販売等を行う要素技術事業から構成されています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、テレワーク等による情報通信設備の需要増を反映してセラミックスの需要も増加しています。金型成形事業においては、自動車産業の需要に持ち直しの動きが見られるものの、先行き是不透明の状況が続いています。</p>			

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して、23億31百万円増加し、1,169億78百万円となりました。主な増加要因としては、現金及び預金の増加60億35百万円などがあげられますが、受取手形及び売掛金の減少26億48百万円、減価償却累計額の増加14億87百万円などにより一部相殺されております。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、43億8百万円増加し、602億10百万円となりました。主な増加要因としては、長期借入金の増加58億8百万円などがあげられますが、1年内返済予定の長期借入金の減少16億27百万円などにより一部相殺されております。

純資産は前連結会計年度末と比較して、19億76百万円減少し、567億68百万円となりました。主な減少要因としては、為替換算調整勘定の減少11億円、利益剰余金の減少6億10百万円などがあげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月7日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、2020年11月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,873	39,908
受取手形及び売掛金	13,773	11,125
電子記録債権	1,589	1,761
商品及び製品	8,733	8,925
仕掛品	7,585	7,859
原材料及び貯蔵品	7,339	7,073
その他	2,774	2,501
貸倒引当金	△379	△218
流動資産合計	75,290	78,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,257	27,910
機械装置及び運搬具	20,887	20,619
その他	13,512	14,005
減価償却累計額	△30,800	△32,288
有形固定資産合計	31,856	30,247
無形固定資産		
のれん	1,494	1,376
その他	916	893
無形固定資産合計	2,411	2,270
投資その他の資産		
その他	5,184	5,583
貸倒引当金	△95	△60
投資その他の資産合計	5,088	5,523
固定資産合計	39,357	38,041
資産合計	114,647	116,978

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,231	3,543
電子記録債務	5,063	4,620
短期借入金	2,508	2,716
1年内償還予定の社債	140	8,121
1年内返済予定の長期借入金	8,944	7,316
未払法人税等	293	347
引当金	695	896
その他	5,215	5,917
流動負債合計	27,092	33,480
固定負債		
社債	8,841	790
長期借入金	18,203	24,011
引当金	271	211
退職給付に係る負債	545	557
資産除去債務	63	64
その他	885	1,095
固定負債合計	28,810	26,729
負債合計	55,902	60,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,785	20,785
資本剰余金	5,896	5,877
利益剰余金	33,670	33,060
自己株式	△4,647	△4,566
株主資本合計	55,705	55,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	901	593
為替換算調整勘定	2,286	1,185
退職給付に係る調整累計額	△227	△240
その他の包括利益累計額合計	2,960	1,539
非支配株主持分	79	72
純資産合計	58,745	56,768
負債純資産合計	114,647	116,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	49,707	40,744
売上原価	33,227	27,885
売上総利益	16,480	12,859
販売費及び一般管理費		
人件費	5,632	5,407
貸倒引当金繰入額	54	64
その他	8,047	6,560
販売費及び一般管理費合計	13,734	12,032
営業利益	2,746	827
営業外収益		
受取利息	180	199
受取配当金	219	108
持分法による投資利益	17	36
助成金収入	94	235
その他	145	162
営業外収益合計	656	742
営業外費用		
支払利息	214	209
為替差損	262	280
貸倒引当金繰入額	260	41
その他	88	144
営業外費用合計	825	676
経常利益	2,577	893
特別利益		
固定資産売却益	8	26
その他	3	1
特別利益合計	12	27
特別損失		
固定資産売却損	114	1
固定資産除却損	30	18
関係会社株式評価損	44	—
関係会社出資金評価損	89	—
その他	2	1
特別損失合計	282	22
税金等調整前四半期純利益	2,307	898
法人税、住民税及び事業税	720	673
法人税等調整額	404	△386
法人税等合計	1,124	286
四半期純利益	1,182	612
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,177	619

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,182	612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△139	△308
為替換算調整勘定	△1,333	△1,087
退職給付に係る調整額	△40	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△13
その他の包括利益合計	△1,523	△1,422
四半期包括利益	△340	△809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△338	△802
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,498	7,242	3,470	45,211	4,496	49,707	—	49,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	110	—	140	1,673	1,813	△1,813	—
計	34,528	7,353	3,470	45,351	6,169	51,521	△1,813	49,707
セグメント利益	3,564	218	369	4,153	236	4,389	△1,643	2,746

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,643百万円には、セグメント間取引消去80百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,723百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工作機械	産業機械	食品機械	報告 セグメント 計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,317	8,045	2,223	36,586	4,158	40,744	—	40,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	28	—	90	1,243	1,334	△1,334	—
計	26,380	8,073	2,223	36,677	5,401	42,079	△1,334	40,744
セグメント利益	1,675	370	27	2,073	312	2,385	△1,558	827

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、精密金型・精密成形事業、要素技術事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,558百万円には、セグメント間取引消去△39百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,518百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社機能に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。